

シャックを作る 4-3

超シンプルな例 ハム子さんのシャック

ハム子さんの作るシャックは、ハンディ・トランシーバーだけという超シンプルなものです。これならば、どんな人でもアマチュア無線を始められるでしょう。でも、こんなにシンプルな無線局でも、一応シャックらしきものを用意しておく必要があります。

*

ハム子さんは、寝室兼マイルームにシャックを作ることにしました。このマイルーム、今まではベッドと化粧台しかなかったのですが、これを機会に読書や書き物ができる机を用意することにしました。

ハム子さんは机の上にブックエンドを置いて書類を納めましたが、小さい机の場合にはどうしても机の上が狭くなってしまいます。そのような場合には、収納用のカラー・ボックスを一つ用意するのがうまい手です。このカラー・ボックスには、書類だけでなく、ニカド電池の充電器など無線機の付属品も納めておくことができます。

その他、本棚などをちょっと整理して、トランシーバーや充電器などを置くだけでも、アマチュア無線を楽しむことができます。



ハンディ・トランシーバー1台だ
って立派なハムのシャック。右に
ある額に免許状が届いたら入れよ
う

Keyword



ニカド電池，充電器，出力，QSO，外部アンテナ

ハム子さんはハンディ・トランシーバーだけで開局しましたが、ハンディ・トランシーバーといっても最大で5Wくらいの出力が出ます。これは、4アマ用のデスクトップ機の出力が10～20Wだということからみても、まああの出力です。

このように出力はまあまあなのに、ハンディ・トランシーバーでQSOできる距離は市街地だとせいぜい1kmくらいが限度です。では、1kmくらいしか電波が届かない原因はどこにあるのでしょうか。その原因は、実はアンテナにあります。ハンディ・トランシーバーだって、外部アンテナをつけるとQSOできる距離は10倍にも20倍にも伸びます。

というわけでハム子さん、局免が来てQSOを始めたら、きっと外部アンテナが欲しくなることでしょう。そのときが来ることを期待して、とりあえずシャックの準備はこまめにしておくことにしましょう。

